

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年 3月 31日
2次評価日（課長等）	30年 3月 31日

# 事務事業評価表（補助金等）

1 事業名	保健委員連合会負担金			事務事業コード	41204	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	担当者	百瀬ひろみ
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	保健・医療の充実	施策	健康づくりの推進	
		事務事業	保健委員連合会負担金			
		予算科目	保健委員事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし	
	根拠法令等	健康増進法				

## ●事業の内容（D0）

4 補助等の内容		* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容	
① 性質	負担金	② 期間	平成25 年度 ~ 年度
補助金の種別	—	③ 対象	市民団体、NPO等
④ 制度の内容	市が行う保健事業の円滑な推進及び地域住民の健康増進を図ることを目的に、岡谷市保健委員連合会に対し、負担金を交付する。		
⑤ 積算方法	※岡谷市保健委員連合会負担金交付に関する内規に基づき交付 内規 第2条 連合会に対する負担金の額は、次の基準により算定した額に基づき、予算		
	区 分	交付金の額（年額）の基準	
	いきいき健康学習分	・ 37,000 円（講師謝礼・資料等消耗品）× 21 地区	
	保健委員研修	・ 講師謝礼（5,000 円）× 21 地区 ・ 資料等の費用として、前年度の保健委員数に 500 円を乗じて得た額	
	人口割額	・ 前年度の 10 月 1 日現在の人口に 20 円を乗じて得た額	
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	・ 住民自らの健康を守る意識の高揚と、健康的な生活習慣の実践による健康寿命の延伸 ・ ソーシャルキャピタルの醸成		

## 5 補助等の実績

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	1	1	1	1
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	2,112,640	2,104,700	2,090,540	2,084,880
財源内訳				
一般財源	2,112,640	2,104,700	2,090,540	2,084,880
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	2,112,640	2,104,700	2,090,540	
予算執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
支出額の前年度比		99.6%	99.3%	

③ 29年度の交付先  
岡谷市保健委員連合会

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価 <small>* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。</small>		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。		1	
③ 全ての対象者に交付している。		1	
④ 補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。		1	
⑤ 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。			0
<b>⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答</b>		<b>妥当性 (2次判定) 標準</b>	
⑥ 補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。			0
⑦ 補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。		1	
⑧ 補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。			0
⑨ 補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。		1	
⑩ 補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、使途を検証している。		1	

7 有効性評価 <small>* 有効性＝成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。</small>		有効性 高い	
評価項目		はい	いいえ
① この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。		1	
② 補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。		1	
③ 他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。		1	
⑤ この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数 前年度比 100.0%	1	

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	<p>(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区役員が1～2年任期で交替するため、役員交替の時期となる年度当初は、特に地区活動への支援が必要となる。</li> <li>・ いきいき健康学習等地区活動の周知は、地区回覧版が主流。その他は、役員が個別に声かけ等行うが、保健委員すら参加しない等人集めに苦慮する地区が多い。</li> </ul>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区活動への支援を継続し、地域で健康づくりを目的に区民が集まり交流する場の維持に努める。</li> </ul>
改善開始時期	31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------